



有限会社コウユウ社

業種	農業・林業	事業所所在地	新潟県柏崎市	資本金	3,000千円
		売上高	～10,000万円	従業員数	2名

 	被承継者（左）		
	齋木 裕司	73歳	※承継時
承継者（右）			
齋木 太郎	43歳	※承継時	
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2020年10月		子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
新潟県柏崎市西山町の農業法人。農業組合法人カマタの農事事務受託・圃場管理受託などの「農事サービス業」として経営。（代表者が農家経営者であるため、多少米の販売なども取り扱っている。）		<ul style="list-style-type: none"> ・新商品・新サービスの開発 ・事業承継前に、売上・収益を生む事業への転換をしたい ・当社自体の事業承継への迅速な取組が必要である ・地区農家の設備更新不可、廃業問題が深刻化している ・地区農家の後継者不在への対応も待たない 	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 1年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元農業者の代表者として地元農家の後継者不足の課題解決を考えていた。（被承継者は、農家が直面する課題について、永年考えてきた議会議員） ■ 当社自体も承継が課題であった。 ■ 承継するにしても、その前提として、経営基盤の充実を図らなければならなかった。 ■ そこで、西山町商工会へ、この課題の対応を相談したことがきっかけである。 	後継者については、当初から、承継者として話し合っており、承継者自身も自分が承継者となることは理解していた。	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が売上・収益を生む自立した事業へ転換できるか不安 ・承継者は、既に地元企業で一定の役職にあり、農業を引き継いでもらえるか不安 ・地域農業の衰退が、このまま加速化しないか不安
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
当社株式は被承継者の東京の弟が一部保有していたが、承継者へ移行することとして、調整できた。		

これに一番苦労した！
承継計画の樹立のうち、経営計画についての分析と予測が困難で苦労した。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・承継計画作成のサポート支援 ・事業承継専門家（いいがた産業創造機構ブロックコーディネーター）の紹介支援
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	
公的機関（事業引継ぎ支援センター等）からの紹介	

経営革新等に係る取組の標題

地区農家の事業承継問題解決と事業承継実施の取組

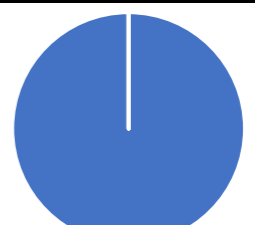
経営革新等に係る取組の内容	商品の新たな生産又は販売の方式の導入
---------------	--------------------

当社は、農業法人カマタの農事事務受託・圃場管理受託などの農事サービス事業を請け負っていたが、同組合の組合員でもあるため非営利法的色彩が強く、収益性や付加価値には差程こだわっておらず、最近数年の決算は赤字基調であった。そこで、赤字を返上して付加価値が出せる経営体に磨き上げることが必要だったため、事業承継を機に高付加価値米の製造と地域農家の抱える事業承継課題に取組む計画を立てた。

計画を実現するため本補助金を活用し、収穫米の乾燥・粳摺・石抜・選別計量・貯蔵にかかる各設備を導入した。新設備で処理されたお米は高付加価値米（ブランド名：かまたコシヒカリ）として、首都圏に向けて販売する。また、後継者不足・労働力不足の課題を抱える地元農家から当社の導入設備による米の乾燥処理受託は、これら農家の生産米の高品質化に貢献できる。

今後は、新設備で製造した高付加価値米（ブランド名：かまたコシヒカリ）の更なる販路拡大、IT化の推進、そして地域農家への事業承継課題解決の支援を行っていく予定である。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域経済への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・当地区の農家が所有している米の乾燥処理機器は老朽化が目立ち、高品質な米の乾燥処理ができなくなっている。 ・当社の最新設備による米の乾燥処理受託は、これら農家の生産米の高品質化に貢献している。 ■ バリューチェーンへの貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・当社による高付加価値米の流通は、首都圏への直接販売額を増加させ、新しいバリューチェーンの構築/拡充を進めることに貢献している。 	<p>■ 設備費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費：米穀等乾燥機、桃摺機等購入費、米穀乾燥機等設置工事費等</p>

認定経営革新等支援機関の名称：西山町商工会

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容

<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・認定経営革新計画の適切な立案と事前評価について、多くご指導いただきました。 ・事業承継の専門家をご紹介いただき、より具体的な承継計画が作成できました。 ・補助金事務局と私共の間に立って、事務局へのご説明と、私共への制度理解を進めるためのご支援をいただきました。 			

今後に向けて～次の目標	
2020年から2023年に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ● 受託業務の拡大（受託の拡大で売上増・収益増をめざす。） ● 処理技術の向上（高付加価値米の割合増加により、処理委託の増加を更に推進する。） ● 地域農家への事業承継課題解決支援（地域農家が事業承継せざるを得なくなった時、当社が受け皿として機能する。）
売上高 200 %UP	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上記により、地域農業の承継問題を解決していく。

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
私のライフワークである、地域農家の振興・承継課題への対応が、本補助金を機に一歩前進したと思っております。また、当社も事業承継についての課題を乗り越え、新たな事業可能性を探って行ける方向を与えていただいたと存じます。地域及び地域農業は、今後も厳しい課題が突き付けられてはおりますが、地域全体の方々の総意の下、更に知恵を絞って対応していけると存じます。	農業の事業承継について、自分はやっているのだろうか、今後も様々な問題は発生しないのだろうか、との心配がありました。地域農業の中で、自分が中心的な役割を果たさなければならぬことは分かっていても、それについての手立ちはあるのだろうか、と長い間悩んでおりました。私は20年以上、IT業界で働いておりましたが、この実績と経験を活かし、農業とITを掛け合わせ、様々な課題を解決していきたいと考えております。